

主な記事

- 2面 黄色いハガキから
- 3面 レセコンについて
- 5面 国保・社保審査委員名簿
- 6面 食べ歩き会

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 平松昌司
印刷所 ユーアイ印刷

レセプト提出日が一部改善

さらに1月・5月の延長も

本紙前号(六月十五日号)の「持論」で「レセプト提出日の延長、緩和を求む」と題して、①連休が続く一月と五月のレセプト提出日は十二日とし、二日間延長すること、②提出締切日が土曜、日曜の場合は翌月曜日、祝祭日の場合は翌日とすることを要求していきたくて掲載したところ、さっそく「読者アンケートハガキ」に次のような反響がありました。

▼持論の「レセプト提出日の延長、緩和を求む」に同感です。一月と五月のレセプト提出日の延長をぜひ実現して欲しい。末端の医療機関では休日返上で職員が働いていることを訴えたい。

(金沢市 産婦人科)

▼レセプト提出日の延長に大賛成。頑張ってください。

(金沢市 内科)

レセプト提出期限について

この問題について、今年二月、保団連北信越ブロックが厚生省保険局に改善を申し入れたところ、厚生省担当者の回答は、「十日が日曜日の場合、十一日に受け取っても受理日を前日の日付でやるだけのこと。実務上の運用でなんとか改善できる方策を検討していきます。一月と五月については、前向きな回答」を得ました。

その後、岐阜県や三重県では県医師会などの働きかけにより、本年五月提出分から、支払基金は十日の午後二時まで、国保連合会は十一日の午後二時までに緩和されており、一月提出分も同様の取り扱いに改善されています。このように各県でレセプト提出日の延長、緩和が進み始めています。

持論

公的医療機関では、法人税などの国税、事業税や固定資産税などの地方税が非課税で補助金もあるが、民間医療機関にはどのような税制上の配慮や補助金はない。これでは「社会的公正」に欠ける、と新潟県保険医会が民間医療機関に対する固定資産税の減免(非課税)運動に取り組んではや三年になる。新潟からの問題提起は、北信越ブロックをはじめ保団連全体に共感を呼び、民間医療機関への支援策を求める運動が広がっている。

本年五月十三日に行われた保団連と日医執行部との懇談で、

医療用固定資産税の非課税、減免を求めて

中村日医常任幹事も「民間医療機関の固定資産税が一般の営利事業と同じ評価で課税されているのは不合理であり、公私格差の一層の拡大につながっている。日医としても減免措置の条例化

対する固定資産税の軽減措置が盛り込まれるようになった。固定資産税は収入や所得税に關係なく課税されるため、新規開業医には最も課税負担が大き

老人保健施設を建てており、同じ「公益性」を持っていても老人保健施設だけが減免されるといふ不合理が生じている。しかも九二年の医療法改正で、老人保健施設は医療施設として位置付けられており、税制面での整合性が問われている。

民間医療機関の固定資産税の減免は、国に先駆けてすでに全国五十八自治体(保団連調査)で実施されている。

以上の趣旨により、協会では、県下市町村に対し、①国に対し非課税の意見書提出を求める陳情、および②非課税が制度化されるまでの条例による減免措置を求める陳情を行い、運動を広げていくことにしている。

速報

保険医協会の陳情で
金沢市議会が
「入れ歯」意見書を採用!

厚生大臣 丹羽雄哉殿

義歯にかかわる診療報酬の改善を求める意見書

我が国では、高齢化社会の中で入れ歯を求め人々は約1,000万人と言われ、その大部分の人々が医療保険による良質な入れ歯を求めているのが現状である。人間にとって、食生活は極めて重要であり、歯は人の健康保持にとって欠くことのできないものである。

しかし、現行の医療保険制度において、入れ歯の診療は材質面では必要な水準が確保されているものの、入れ歯の作製にかかわる歯科医師並びに歯科技工士の技術評価(保険点数)が極めて低く抑えられているため、国民のよりよい入れ歯を求める要望に十分対応できにくい状況になっている。

よって政府におかれては、だれもが医療保険でよい入れ歯をつくれるように義歯にかかわる診療報酬の抜本的改善を図られるよう強く要望する。

ここに、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

平成5年6月29日

金沢市議会議長 井沢義武

七月五日現在、全国一〇八九の自治体で同意見書が採択されています。

医心凡話

二、三年前のNHKの放映であったろうか、アメリカのプライマリースクールの授業で「事実」と「意見」を区別する練習をさせていたのを見て感心した。「きのう雨が降った」は事実であり、「あしたは雨でしょう」は意見である。「事実」は真実であり信用できるが、「意見」は正しいかどうか、その通りになるかどうかは不明で当てにできないという。しかし、意見の値打ちは、いろいろなものの方や可能性が分り、創造的な討論ができることにある。

五月三十一日のテレビ朝日の番組「総理と語る」の中で、宮沢首相が「政治改革は今国会で絶対にやります」と言いながら、何もしないで国会解散に至ったので、「嘘つきだ」と言ったニュースキャスターがいた。しかし、この首相の言葉は意見であって、「誠意をもって努力します」という意味にとるべきで、厳密には嘘というべきでないことになる。

しかしながら、前回の選挙で、医療者代表の宮崎秀樹氏が、自民党の比例代表候補者の二十位に据え置かれて落選したことは厳然たる事実である。数ある業種の中で医療はそんなに重要度の低いものなのだろうか。今度の選挙で、もし自民党がこの落選を忘れて「医療は国民の一番大切なもの」などと美辞麗句をならべて票集めにきても、医療軽視の前科は消えず「嘘つき」と見なされかねないのである。

医薬品売買に関する「取引契約書」締結が、近々県内卸問屋幹部社員によって分担して推進されるという情報で一同騒然となり、緊急に会員全員に通知することになった。

また県下の一医院の税務調査で、近所への香典やお見舞いのほか、通勤用自動車の諸経費までも交際費として認められないという相談があり、あまりの無茶苦茶なやり方に、関与税理士から税務署に抗議してもらうよう助言した。

6月度 理事会 点描

公的医療機関や老健施設ですで行われている法人税・事業税・固定資産税の減免措置が五十八の自治体です。石川県下でも請願運動の展開を決定した。このような運動や「医療保険の充実を求める要請書運動」では、各都市医師会の同調がぜひ必要であり、今後も各医師会・歯科医師会に呼びかけていくことになった。

金沢市議会で、当協会の「保険で良い入れ歯を」運動の陳情書が取り上げられることになり、明るい兆しが見えてきた。

(舟木 記)

看過できない 税務調査

第7回理事会
6月15日・13人出席

産税などの非課税・減免は、当然、民間医療機関にも行われるべきであり、

次第に日が長くなり、体感時間が遅れてしまうのか、定時の七時半になっても集まりがもうひとつという状況であった。会員は実質二人増加で七百十一人。総務部から北信越ブロック会議の報告があり、井上先生の講演にあった社会保険制度審議会の第一次報告書の説明がなされた。戦後の社会保険制度の基本理念を真っ向から否定し、自助努力と自己責任論を基調とするもので、今後、協会においても論議していく必要性が確認された。

また、診療報酬改善の運動についても報告され、厚生省は来年春の診療報酬改定に向け、その準備を行っており、協会としてもそれらの討議と対応について、忙しい季節を迎えようである。

これからますます 多忙になりそう

第6回理事会
6月1日・12人出席

成として期待したい。昨年のレセコン調査に引き続き、レセコンの多面的な利用法の企画について議論されたが、レセコンの寡占化が進み、レセコン業者に対する不満が噴出し、一時収拾が付かなくなりました。

病院マップの改訂も順調に進んでいる。

機関紙・文化部では、キス釣り大会や協会レクリエーションなどの企画が目白押しで、会員の皆様の積極的な参加を期待したい。

理事会の激論により、定刻の九時半を四十分過ぎての閉会であった。

(喜多記)

連団保 出版部会 報告

発刊10周年を迎えた 月刊保団連

この記事に目をとめていただいて、ありがとうございます。毎月みなさんのお手元に届く保団連の機関誌、の抱負が今に受け継がれてみませんか。パイプ役「月刊保団連」が発刊十周年を迎えましたので、本誌のここの総合医学雑誌は、一九八三年当時の「保険診療研究」と「全国保険医通信」が合体して誕生しました。そのときの桐島会長の創刊の辞「開業医が広い医学常識と医学情報を持ち、地域

医療や住民対話集会などに参加するための、学習・情報・発表の発信地にする」の抱負が今に受け継がれています。

発行部数は四万部から七万部に成長しました。みなさんは、お読みになってどのような感想をお持ちでしょうか。どのような意見でもお待ちしています。本誌の今後の課題として、編集・出版部は次のように考えています。

第一に、全国の協会活動を

安藤 良一

'93秋のレクリエーションのご案内

高山、飛騨大鍾乳洞と下呂温泉

(宿泊：下呂温泉「湯之島館(新館)」・楽しい宴会付)

・とき 9月25日(土)～26日(日)・1泊2日

1993年 保険医年金が いよいよ9月から募集開始!

9月1日(水)～10月25日(月)

ただ今、予約受付中!!

さらに問題事例が

協会に寄せられた黄色いハガキから

【問題事例 67】

最近、狭心症に対するフランドルの査定があります。狭心症に対してフランドル4Tを3Tに査定され、再審査請求しましたが、原審通りということで復活しませんでした。狭心症に対して、フランドルの使用はどの程度可能でしょうか。

《協会のコメント》

狭心症に対してのフランドルの使用は2錠が常

用量です。症状によっては3錠までは普通に認められると思います。ただし、全例に3錠使用の場合は問題にされる可能性があります。この時は症状をレセプトに注記されて使用されるようおすす

【問題事例 68】

潰瘍性胃腸(病名)に対してガスターを2錠処方しましたが査定され、再審査請求を行いました

が、原審通りということで復活しませんでした。胃腸で潰瘍を形成しており、出血などがある場合に、ガスターを使う必要がありますが、病名を胃腸と胃潰瘍と併記するよりは、潰瘍性胃腸のほうが病的にも良いと考えますが。

《協会のコメント》

私たちの常識では、本ケースで潰瘍性胃腸の病名をつけて、ガスターを使用することは問題ではないと思いますが、保険者側が適用を厳密に解釈して、再審査を迫っている現状では、胃腸と胃潰瘍を併記するか、癌性(悪性)胃潰瘍とする方が無難だと思います。

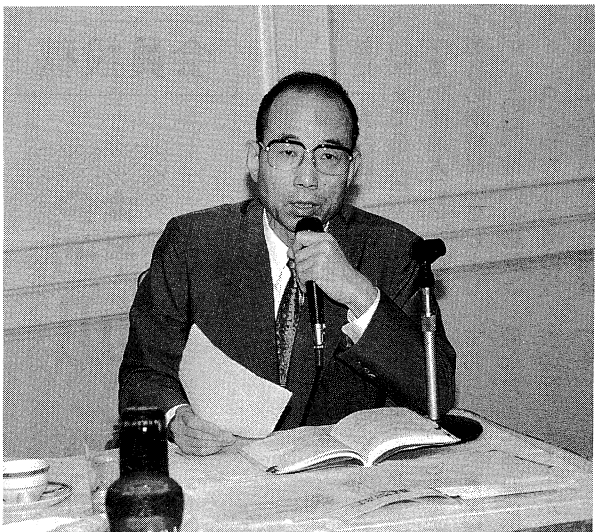
黄色いハガキは、毎月保険医新聞に同封してあります。

●講演要旨●

医療供給体制再編と中小病院の生きる道

つぶれるのならば最後につぶれる病院に

原和人 (城北病院・外科)



講師の池山淳先生 (愛知県保険医協会理事・地域病床部会長)

六月十九日、金沢都ホテルにおいて愛知協会の池山先生をお招きして『医療供給体制の再編と中小病院の生きる道』の講演会を中小病院長を中心に三十三人の参加で開催しました。

池山先生は、最近出版した『厚生省の医療革命』という本をテキストにしたが、厚生省のねらいや医療機関の困難な状況、その中で医療側はどのように対応したら良いのかについて明快にお話しされました。

さえない限り、今後の展望が見えてこないと思われれば、具体的には、愛知においても病院の倒産や廃止が相次いでおり、その生々しい実態が報告されました。そして、医療側はどのように対応したら良いかについて、厚生省は中小病院が倒産してもよいと考えていることから、かなり厳しいと前置きして、『つぶれるの

ならば最後につぶれる病院になろう』と話され、患者には、希望、安心、信頼、平和を与え、従業員には、生きがい、生活の安定、希望などを与えることが必要だと述べられました。また、療養型病床群は現在においてはメリットはないということ、特例許可老人病院で頑張った方がよいという判断を示されました。しかし、次回の診療報酬改定で

は、療養型病床群に対する優遇措置が講じられる可能性があると述べられました。石川協会では、このような病院向けの講演会を企画したのは初めてのことであり、今後とも病院関係の資料を提供していくとともに、民間の中小病院に対する取り組みも強化したいと考えています。

療養型ではレセコンは医師はノータッチで事務員まかせであるが、今後ユーザの要望が高まれば、公開せざるをえないと考えているようです(実際レセコンのデータをパソコンなどで広く使われているMS-DOSなどのデータに置き換えて出力することは、技術的には決して難しいことではない)。

電算化は審査の強化や、患者プライバシーの侵害につながる可能性も指摘されております。また参加機関では提出前の点検をモニターではやりやすく、わざわざ白紙に打ち出して点検しているとの笑えない話も伝えられており、全面的に賛成することはもちろんできませんが、大勢としてはレセプトの電算化、すなわちフロッピーディスクの提出による請求・審査が実用化されていくと思われれます。

「レセコンの将来と保険医協会の対応」 小生を含めて大部分の昔前に医局を「卒業」した者が、大学の医局をたずねると眼を丸くすると思えます。すなわち米国籍のパソコンが散在していて、若い医局員たちが自在にデータ処理や学会発表、論文作成に使っています。この人たちが何年後に開業しようとしたとき、まずレセコンのデータを自分が使っているマック98などのパソコンで利用できないか考えたいと思います。レセコンメーカーに対するデータ公開の要求は徐々に高まってくると思えますが、現状では新規開業医では情報不足で十分な価格や性能についての検討ができないまま、シェアの高いメーカーのレセコンを安心のために購入する傾向となります。また最近では撤退したメーカーのユーザや、すでにリース期間が過ぎた古い機種を使っておられる所への売り込み

レセコンについて 医師の立場から 協会を情報のプール機関に

喜多 徹 (野々市町・内科)

メーカーの寡占化が

レセコン販売会社は、全国には百社にのぼるといわれますが、実際に県内で販売稼動しているのは数社にすぎません。さらにここ数年の間にIBM、JBC、エプソン、沖電気などのメーカーも撤退か、今後は新機種を出さないことを決めたようです。コンピュータ業界も不況の嵐にもまれており、企業のリストラクテイングの一環とも考えられますが、なによりレセコンビジネスが他のコンピュータビジネスとちがって、二年に一度の診療報酬の改定という途方もなくコストがかかる作業を強いられ、販売台数の少ないメーカーは採算が合わなくなった結果とも言えます。実際ここ一年位、県内では業界トップの三洋メディコムがさら

にシェアを伸ばしたようです。レセコンの性能向上とレセコンへの接近—— コンピュータ業界のこの数年のトレンドは、ダウンサイジングです。いままで大型コンピュータで大型コンピュータでできなかった業務が、ワークステーションに置き変わり、オフコンで処理してきた業務もパソコンで十分可能になりました。さらにハードディスク、光磁気ディスク、液晶やバーコードなどパソコン周辺機器の発達や低廉化は、もはやオフイスではオフコンでなくパソコンで処理する時代となりました。レセコン業界でもパソコンによる会計・レセプト作成などのソフト開発や販売も一部でなされるようになってきました。

このような動きと呼応して、レセコン上のデータ(患者頭書き、病名、診療内容など)をレセコンより取り出して、さらに病歴、検査データなどとともにパソコン上のデータベースにより一括管理したいという要望が高まってきたように思います。(レセコンデータの二次利用)これについては一部のパソコンを利用したレセコンでは可能になってきていますが、大部分のレセコンでは不可能です。つまりデータはユーザに対し非公開が原則です(メディコムの新機種では、一部のデータを取り出せるアダプターをメーカー本社でなく、愛知県のある会社が開発し売り出しているとの話があります)。

この件については、レセコンメーカー側でも不安があるようで、データ非公開は販売政策上有利であるし、現在のところほとんどの医

今後、保険医協会をレセコンに関する情報のプール機関として、お互い利用するのはどうでしょうか。このような意味で、ぜひレセコンやパソコンに関するどんなささいな情報でもお寄せ頂ければ、われわれ共通の利益となるのではないのでしょうか。

このように、各論に反対していても臨調という総論を崩すことはできません。臨調という名の下に、社会保障費の削減と税金を増加することによって乗り切ろうとする路線だとして厳しく批判されました。そして今日の医療危機も、そのような臨調『行革』路線が根本にあり、各論に反対していても臨調という総論を崩

果ともいえます。実際ここ一年位、県内では業界トップの三洋メディコムがさら

この件については、レセコンメーカー側でも不安があるようで、データ非公開は販売政策上有利であるし、現在のところほとんどの医

改定時のコストが軽減できるとの三者の思惑が一致し再発したわけですが、当初はエラー率が高くて実用化は無理と思われたものが次第にエラー率が下がりが実用化に近付いたと言われています。もちろんレセプト

本稿を書くにあたり、パソコン通信ネット「ニフティサーブ」の中で「開業医の部屋」を運営されている、大阪府医師会医療情報部員の高橋徳先生のパソコン通信での論文を参考にさせていただきました。

囲碁解答 碁盤図と解説: コウになりま... 6取り返す。9(1)の所。黒8をAに取ると白8で追い落とす。しになります。

会員投稿

輸血と輸血事業の推移

石川県赤十字血液センター 後藤 田 博 之

一、私の輸血経験

私は一九四四年から一九六〇年まで金沢医大、金大医学部の産婦人科に在籍して患者の治療に従事しました。この間、輸血の経験は全くゼロでした。当時の輸血は付属病院の守衛室に数人の、しかも今では比重が軽くて献血できない売血者が待機し、特に輸血の必要なごく一部の患者に、何ら輸血血液の検査も実施せず患者の血液検査のみで輸血していた状態でした。

また、私が開業した一九六〇年から、閉鎖するまでの二十五年間に輸血を経験したのは二例だけでした。最初の一例目は分娩時の異常大出血で、あらゆる止血療法も効果なく、患者の生命も危険な状態になったために始めて輸血を実施しました。止血に成功し、一般状態も急速に回復し、輸血の効果も認識し、患者に感謝されました。

二例目は子宮外妊娠の破裂で緊急手術をしましたが、内出血が多量で全身状態が悪化したために、輸血を行いました。生命をとりとめることができました。ただしその後、血清肝炎を併発し、そのための治療と、患者とその家族のうらみに対応するための苦勞が大きく、患者を助けたが、その後、輸血は安

易にすべきでないと思いましたが、もちろん、当時は肝炎ウイルスなどの病原体検査は現在のように実施されず、検査成績も不正確なために輸血後の血清肝炎の発生率も高かったはず

です。一九八六年に病院を閉鎖し、臨床医として患者の治療を全く中止し、以来、輸血血液供給のための献血事業に協力して来ましたが、現在の輸血血液の検査は種類も多く、成績の正確度も高く、信頼できるようになって

います。従って、今では的確に輸血をすれば輸血後の副作用の心配がない状態になって

二、現在の輸血状況

一九九二年四月から十二月までに石川センターから各医療機関に供給した二百ミリリットル、四百ミリリットル、成分献血から調整された血液製剤の総量は二百

ミリリットルに換算して合計十五万五千六百七十七本となり、その量は毎年増加して医療のために重要な役割を果たしている現況です。各種血液製剤の供給数は省

略しますが、今回は、本年四月から供給を始めた新しい血液製剤、赤血球M・A・P(日赤)についてお知らせ

します。この製剤は日赤血液センターが赤血球の品質向上を図り、かつ、血友病患者に必要な凝固因子製剤の原料血漿(平成五年度、全国で六十万リットル)を確保するために、昨年一月に新しい保存液M・A・P(Mannitol-Adenine-Phosphatateの頭文字)の認可を受け

ました。石川センターでも有効で安全な血液製剤を供給するために、四月から従来の濃厚赤血球「日赤」に代わり、新しく赤血球M・A・P「日赤」の製剤の供給を

始めました。この製剤の特徴は、①血漿の大部分を除去し、赤血球保存液(M・A・P液)を添加することで濃厚赤血球に比べ優れた品質の赤血球製剤です。②有効期限は、M・A・P液の添加で従来の二倍の四十二日間となりました。③赤血球回収率は約九〇%ですが、リンパ球、血小板および血漿除去率は約九〇%、顆粒球除去率は約四〇%です。④赤血球保存液(M・A・P液)を添加してヘマトクリット値が約六〇%に調整されているので、粘度が低く輸血しやすくな

りました。⑤各種抗原、抗体の検査、梅毒血清検査、肝機能検査(GPT)などに合格した健康な献血者の血液を原料として分離調製したものです。⑥本剤の使用で大切な血漿がより

多く確保される。特に有効期限の延長は、赤血球製剤の効率的な供給が可能となり、石川センターでも採血目標本数を供給本数の実態を見ながら決めることができるようになりました。従って従来のように有効期限がきれて廃棄するロスも少なくなり

「診療報酬引き上げ等に関する要請書」意見欄から

—— ご協力ありがとうございました ——

● 今回こそごまかしアップではなく、実質アップをお願いします。(松任市 外科)

● 古くて良い薬がたくさんあります。新薬の薬価が低くおさえられれば医療費は安くなるのは間違いありません。開業医がつぶれたら税金は少なくなります。医療を国営にするおつもりですか。(野々市町 内科)

● 看護婦の週休二日制と、育児休暇の実施可能な診療報酬アップが必要です。(小松市・整形外科)

● 我が国の医療費は、欧米先進国に比べてまだ低い。診療報酬引き上げ財源を盛り込んでください。(鶴来町 内科)

● 薬剤の在庫負担を改善するため一g、一錠、一パイアルの返品を可能としない薬剤差一〇%では、医療機関の経営は無理。返品可能とする制度を乞う。(小松市 耳鼻咽喉科)

● せめて国民所得の上昇に比例した引き上げを。(金沢市 内科)

● 患者中心の医療を。第一線開業医の意見を。(野々市町 内科)

● 国民の健康に関わる予算を、もっと増やすべきです。(金沢市 内科)

● 診療報酬単価を物価にスライドして上げて頂きたい。(金沢市 内科)

● 自民党が医療を駄目にした、と言われぬように努力をお願いします。(金沢市 内科)

● 患者さんの大病院指向による患者減、人件費の高騰など医療経営を圧迫しています。減税、診療報酬の引き上げをお願いします。(金沢市・耳鼻咽喉科)

● 新薬の価格を安くし、逆に向精神薬など五円七十銭の薬、一g一円五十九銭のカマなどを、メーカー、卸ユーザーが何とか手間賃が出る位に上げてください。古くて良い薬がたくさんあります。新薬の薬価が低くおさえられれば医療費は安くなるのは間違いありません。開業医がつぶれたら税金は少なくなります。医療を国営にするおつもりですか。(野々市町 内科)

● これは、病院経営の五〇%以上を占める人件費のアップに見合うだけに診療報酬の改善がなかったためです。医療費の大幅引き上げなしにこの事態は改善しません。患者負担を増やすことになって乗り切ろうという方向に反対します。公的負担の増が是非とも必要です。(金沢市 外科)

● 診療報酬二十五%程度のアップがなければ、ゆとりのある良い診療はできません。(金沢市 内科)

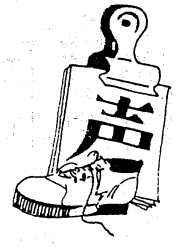
● 健康と生命を守ることは、憲法二十五条で保障されていることです。自己負担(国民負担)の増大は弱者を直撃します。現行の診療報酬では、第一線の医療機関は閉鎖に追い込まれ、国民医療の破壊につながります。大企業優先の軍事費、ODAを減らし、医療福祉の充実へ。(金沢市 内科)

● 医師の技術料を適正に評価して欲しい。また、往診料が、近くても遠くても同点数ということは不適当である。(珠洲市 内科)

● 先進国の国際比較からみて、日本はもっと医療費の総枠を上げるべきです。財源は、大企業及び消費税より。(金沢市 内科)

● 弱小診療所をいじめないでください。(金沢市 産婦人科)

● 経済大国にふさわしい質の高い医療を、すべての国民が受けられることを望みます。(金沢市 外科)



石川県国保審査委員名簿

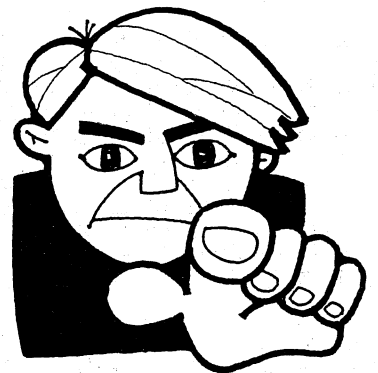
(任期…一九九三年六月一日～一九九五年五月三十一日)

《支払基金》

代表別	診療科	氏名	職名	
診療担当者	内科	土谷 保	開業医 県医師会理事 金沢市医師会理事	
	内科	米島作三郎	開業医	
	内科	西田守治	開業医 県医師会理事	
	内科	西村 功	開業医 金沢市医師会理事	
	内科	能登康夫	開業医 県医師会代議員 金沢市医師会理事	
	内科	近藤俊彦	開業医	
	外科	松村春夫	開業医 金沢市医師会理事	
	小児	横井 衛	開業医 県医師会理事	
	整外	川北 篤	開業医 県医師会理事	
	整外	加藤日出治	開業医	
	産婦	早稲田健一	開業医 日母協会県支部常任理事	
	精神	菊地龍雄	加賀神経サナトリウム院長	
	眼科	藤沢昭三	開業医	
	耳鼻	福田 学	開業医	
	18人	皮	三木 甫	開業医
		歯科	野田勝弘	開業医 県歯科医師会理事
		歯科	村中孝守	開業医 県歯科医師会選挙管理委員
		歯科	津田文夫	開業医 県歯科医師会代議員会副議長
学職経験者	内科	杉岡五郎	国立金沢病院院長	
	内科	石川 勲	金沢医科大学医学部教授	
	内科	高田重男	金沢大学医学部助教授	
	内科	宮森 勇	金沢大学医学部付属病院講師	
	内科	大家他喜男	石川県立中央病院院長	
	内科	三由文一	専任審査委員	
	内科	立野育郎	専任審査委員	
	小児	小泉晶一	金沢大学医学部助教授	
	外科	三輪晃一	金沢大学医学部助教授	
	外科	能登 佐	専任審査委員	
	産婦	桑原惣隆	金沢医科大学教授	
	整外	東田紀彦	金沢医科大学教授	
	泌尿	打林忠雄	金沢大学医学部付属病院講師	
	皮膚	川島愛雄	石川県立中央病院診療部長	
	18人	眼科	望月清文	金沢大学医学部助教授
		耳鼻	長山郁生	金沢大学医学部耳鼻咽喉科助教授
		歯科	溝口 寛	開業医 県歯科医師会副会長
		歯科	塩田 寛	専任審査委員
保険者	内科	織田邦夫	社会保険鳴和総合病院院長	
	内科	篠崎公秀	国家公務員共済組合北陸病院内科部長	
	内科	早川浩之	河北中央病院院長	
	内科	新谷博之	小松製作所栗津工場健康管理部長	
	内科	中浜 啓	石川県厚生部保険課指導医療官	
	外科	石倉 彰	国立金沢病院脳神経外科医長	
	外科	矢崎敏夫	開業医 県医師会常任理事	
	外科	橋本之方	社会保険鳴和総合病院副院長	
	外科	松原純一	金沢医科大学助教授	
	整外	林 信治	社会保険鳴和総合病院整形外科部長	
	小児	西川二郎	国立療養所医王病院院長	
	小児	小林 泰	金沢西病院副院長兼小児科医長	
	精神	中村一郎	石川県立高松病院副院長	
	耳鼻	片田一男	根上総合病院耳鼻科医長	
	18人	眼科	松井正作	開業医
		歯科	長田 稔	石川県厚生部保険課指導医療官
		歯科	綿谷修一	開業医
		歯科	新井由宇	開業医

《国保連合会》

代表別	診療科	氏名	職名	
国保医・薬剤師代表	内科	大森 肇	大森内科医院長	
	内科	金戸 昭	金戸医院長	
	内科	津田功雄	津田内科医院長	
	内科	前川信政	前川医院長	
	内科	西村邦雄	西村内科医院長	
	小児	佐藤 純	佐藤小児科医院長	
	外科	大和一夫	大和外科種村耳鼻咽喉科医院長	
	外科	横浜外雄	横浜外科医院長	
	整外	勝木道夫	整形外科芦城病院長	
	耳鼻	中橋常雄	中橋耳鼻咽喉科医院長	
	産婦	紺谷昭哉	紺谷産婦人科医院長	
	14人	歯科	伊川栄一	伊川歯科医院長
		歯科	向田能和	向田歯科医院長
	薬局	綿谷小作	綿谷小作薬局長	
公益代表	内科	西野知一	国家公務員共済組合北陸病院顧問	
	内科	熊野豊彦	石川県厚生援護課医療指導専門員	
	内科	松井 忍	金沢医科大学循環器内科教授	
	内科	東福要平	石川県済生会金沢病院長	
	内科	中村 忍	金沢大学医学部助教授	
	精神	島田昭三郎	常盤園長	
	外科	川筋道雄	金大医学部附属病院第一外科助教授	
	外科	池田清延	金大医学部附属病院脳神経外科講師	
	泌尿	勝見哲郎	国立金沢病院泌尿器科医長	
	耳鼻	徳田紀九久	石川県立中央病院診療部長	
	産婦	高邑昌輔	国立山中病院長	
	14人	眼科	柳田 隆	国立金沢病院眼科医長
		歯科	高田尚武	石川県歯科医師会金沢支部幹事
	歯科	三津野公夫	石川県歯科医師会小松支部幹事	
保険者代表	内科	梅田 明	石川県国保連合会囃託医(梅田医院長)	
	内科	長田清明	金沢赤十字病院第一内科部長	
	内科	木田 寛	国立金沢病院第一内科医長	
	内科	沢田大成	金沢市立病院長	
	内科	谷内荘成	公立羽咋病院長	
	内科	岩田卓造	石川県医師国保組合(細柳クリニック)	
	内科	藤田士郎	県医師国保組合(細柳眼科医長)	
	小児	大木徹郎	石川県立中央病院診療部長	
	外科	瀬川安雄	小松市民病院長	
	整外	島 巖	石川県立中央病院診療部長	
	皮膚	西部武嗣	石川県医師国保組合(林野眼科クリニック)	
	14人	眼科	山崎芳治	石川県医師国保組合(山崎眼科医長)
		歯科	加藤 寿	歯科医師国保支部(加藤歯科医院長)
		歯科	八木茂夫	歯科医師国保支部(八木歯科医院長)



《浅野川総合病院からのお知らせ》

第3回臨床神経科学懇話会

・日 時 7月31日(土) 午後5時より

・場 所 金沢シティモンドホテル
2F 撫子桔梗の間

金沢市橋場町2-10 TEL (0762) 24-5555

主催 浅ノ川総合病院脳神経センター

代表 江 守 巧

TEL (0762) 52-2101

後援 大日本製薬株式会社

○ ○ ○ ○ ○ プ ロ グ ラ ム ○ ○ ○ ○ ○

・学術映画 低血圧症とリズムック

・講 演 「神経内科からみためまい」

金沢医科大学 神経内科

教授 廣 瀬 源二郎 先生

「耳鼻咽喉科からみためまい」

東京医科歯科大学 耳鼻咽喉科

教授 小松崎 篤 先生

座長 金沢大学 耳鼻咽喉科

講師 岡 部 陽 三 先生

◎参加は無料です。ご自由にご参加ください。なお、講演会終了後、立食パーティーを予定しています。講師の先生方ともご歓談ください。

栗野利雄先生の 記念碑めぐり (41)

義民道閑顕彰碑 (鹿島郡・鹿島町)



義民道閑顕彰碑と栗野先生

七尾線の能登部(のとべ)駅から石動山(せきどうざん)方向へ向かうと、国道一五九号線に交差する。そのあたりが久江(くえ)町で、道閑公園の案内看板に従って進むと小高い小公園に着く。その丘の中腹に「松葉散る一段高し義人の碑」が現れるのである。鹿島地方を所領とする

「おいたわしや道閑さまは 七十五村の身代わりに」 農民の嘆き伝える道閑顕彰碑

長連頼の家臣である浦野と加藤は、かねがね仲が悪かった。一六三〇年(寛永六年)、加藤派は浦野一派がたまたま隠し田を拓いて私腹を肥やしていたところから、この悪事を暴き浦野を重臣の地位から追い落とすために新開田検地を上申した。浦野派は、不正が暴かれれば主家から追放される。

横たわる巨大な顕彰碑を守るように、折からの春の雪が五輪の塔に降りかかり、寒椿が咲き、白梅が香る。最上段の崖の「わらべ堂」には、息子とともに打首にされた道閑ら三体の地蔵が安置され、仮りの世を眺めている。このほか二郎兵衛、長家の二人はさらし首にされたとあり、今を去る三百有余年の昔、重税(年貢米)に喘いだ農民の嘆きが、ここ邑知瀧鹿島地方から今も伝わって来るようである。



12人が参加して開かれた食べ歩き会 (6月22日)

食べ歩き会

南仏料理専門店
ラ・ネネグース

日米フランス料理会談

小森 伊早子(金沢市・小森耳鼻咽喉科) 小森 耳 鼻 咽 喉 科 院 院 長 夫 人

今回の食べ歩き会は、南仏料理ラ・ネネグースでした。新神田マクドナルドの隣りです。店のたたずまいは、何年か前に行った時と変わらず、落ち着いた雰囲気です。まわりの喧騒がうそのようで、ここだけは時間もゆったりと流れているような気がします。店内のインテリアなどを眺めながら久しぶりのフランス料理に期待もふくらんできました。そこへ

江守先生ご夫妻がホームステイの学生と一緒に入って来られました。フランス料理にアメリカからのお客様と、日常を忘れさせてくれる会の始まりです。

①アミューズブル(毛ガニとカリフラワーのジュレ寄せ) ②アワビとリードヴォー(仔牛の肉)のブリック(中近東で使われるギョーザの皮のようなもの) ③包み④車海老と帆立貝のグリエ

④すずきのボワレ ⑤シャレーと仔羊のロースト ⑦メロンのミント風味ジュレソース ⑧カラメルとシヨコラのガトー、アイスクリーム

シェフ手書きのメニューを横に置き、次々出てくるお料理と見比べ、確かめながらの食事となりました。どれ一つとってもメインとなるものばかりで、シェフの思い入れが伝わります。

今回はナイフとフォーク(これだけでも十分緊張するの)。アメリカ人も加わった国際的雰囲気です。いつもと随分違って格調高いね」との声も、おかげで楽しい一夜を過ごすことができました。

「お店のご紹介」
ラ・ネネグース
金沢市新神田4丁目1の31
0762(91)6651

碁

出題者 六段 向井 富治 (金沢市・内科)

上原時雄四段との対局に現われました。白番でどうなりますか (解答3面)

キヌ釣り大会

とき 8月21日(土) 午後6時半集合
22日(日) 午前11時解散

ところ 能登島荘 (能登島町 緩目)

◎参加費など詳しくは協会までお問い合わせ下さい。 ☎0762(22)5373